

日本原子力発電株式会社 東海第二発電所  
溶接作業中の着衣への引火による作業員の負傷に係る立入調査結果について

令和6年12月10日  
防災・危機管理部原子力安全対策課

令和6年12月9日に日本原子力発電（株）の東海第二発電所において溶接作業中の作業員の着衣に引火し、同作業員が火傷する事象（火災）が発生したことについて、県は、12月10日、東海村とともに、下記のとおり立入調査を実施しました。

1 実施日時

令和6年12月10日（火） 13時30分～15時00分

2 実施者

県、東海村

3 立入調査結果

以下のことについて、聞き取り及び現場調査で確認した。

○ 環境影響

- ・ 事象発生前後におけるモニタリングポスト等の値に異常がなく、周辺環境への影響は認められない。

○ 施設等への影響

- ・ 事象が発生した現場は、屋外（管理区域外）の取水口エリアの取水口門型クレーンの解体現場であり、原子力施設への影響はない。
- ・ 本事象による延焼はなく、周辺の設備、建屋への影響は確認されていない。

○ 現在の措置状況

- ・ 事象が生じた作業は中断されている。

4 要請事項

立入調査後、以下のとおり要請を行った。

- ・ 早急に原因究明や再発防止対策の検討を進め、進捗について適宜報告すること。

5 今後の予定

原因調査や再発防止対策について事業者から引き続き報告を受け、必要に応じて立入調査等に対応状況を確認していく。